

園芸産地を目指して！

鳥獣被害対策研修会を開催しました。

8月4日、ふれあい会館にて、鳥獣被害対策研修会を開催し、市内の農作物被害状況、加害鳥獣の特定方法と被害防止策、動物捕獲体験談などをお話ししました。

収穫しない果樹や畑の残渣の放置は、動物を寄せ付けてしまいます。果樹を伐採する、残渣をコンポストに入れる、田んぼは遅れ穂をすき込むといった対策を行いましょう。

「食害跡」から加害鳥獣を特定

食べ方が異なることから、食害跡からも加害鳥獣の特定ができます

アライグマ



穴をあけ、前足でくりぬくように食べるため、丸い穴が空く

カラス



くちばしで突いて食べるため、鋭角なくちばしの跡が残る

ハクビシン



かじりついて食べるため、大きくえぐり取られたような跡が残る



▲研修スライド

▲研修の様子

「カリフラワー」「ブロッコリー」「キャベツ」の育苗巡回を実施しました。

8月1日、JAあがのアグリセンター管内で、カリフラワー・ブロッコリー・キャベツの育苗巡回を行いました。巡回には、新発田農業普及指導センター指導員が立ち会いました。

秋冬野菜の育苗は気温が高い日が続く夏場に行くため、苗を徒長させない、枯らさないための灌水と日よけ対策が重要となります。また、定植時の天候にも気をつけなければいけません。近年では高温日の長期化や降水不足が常態化しており、育苗管理が難しくなってきました。

生産者によっては、ハウス内の熱気を排出するためにファンを回したり、播種日を遅らせたり、遮光シートを日射量を多く抑えるものに替えたりといった対策を行っていました。



▲指導員による今後の管理指導の様子



▲植え付け可能な苗

「阿賀野市オーガニックビレッジ宣言」を行いました！



令和7年7月20日、道の駅あがので行われた、「にいがたオーガニックフェスタ」にて、加藤博幸市長が、阿賀野市オーガニックビレッジ宣言をしました。

オーガニックビレッジ宣言とは？

・有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず、事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進める市町村であることを対外的に宣言するもの。

阿賀野市では、有機栽培は、特に笹神地区を中心に米の生産が盛んですが、この機に野菜の有機栽培にもぜひ挑戦してみませんか？

野菜（大根・じゃがいも・人参・長ネギ）の栽培の実証に取り組む方もいらっしゃいます！

▲長ネギ実証ほ場→



熱中症予防のポイント

新潟県は、8月5日まで19日連続で熱中症警戒アラートが発表されました。
予防のポイントを確認し安全に作業しましょう。



高温時の作業は避ける



単独作業は避ける



休憩と水分補給



熱中症対策アイテム

★ＪＡ・農林課・普及センターでは、さまざまな品目の栽培指導など、園芸生産をサポートしています。
ご興味のある方は、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ】

○ＪＡ新潟かがやき あがのアグリセンター（樋口・中島）	TEL 6 2 - 2 2 3 5
○ＪＡ新潟かがやき ささかみアグリセンター（石山）	TEL 2 5 - 7 2 5 2
○阿賀野市農林課農林振興係（直通）	TEL 6 1 - 2 4 7 8
○新発田農業普及指導センター（野菜）	TEL 0 2 5 4 - 2 6 - 9 1 2 6
○新発田農業普及指導センター（花・果樹）	TEL 0 2 5 4 - 2 6 - 9 1 5 5

阿賀野市のホームページからもご覧いただけます！

阿賀野市 園芸情報

検索

もしくは、二次元コードを読み取ってください。

